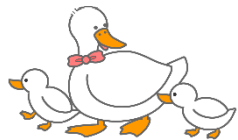


てくてく通信

小児科 アレルギー科
胃腸科 内科 外科 肛門科

2025 年 8 月号



医療法人 あおきクリニック

〒378-0842 群馬県伊勢崎市馬見塚町 1162-1

TEL : 0270-31-2262 FAX:0270-31-2260

URL : <https://www.aokiclinic-tekuteku.jp/>



猛暑が続いて、最高気温38度など体温を超える毎日です。

地球温暖化どんどん進んでいます、参議院選挙の公約にもどの党も踏み込んでいないのが残念です。子供たちが大人になるころには地球の環境がどうなっているのか危惧しています。

百日咳流行中です。

今年は特に小学生以上の百日咳が流行しています。

コロナ流行中は百日咳に遭遇することはありませんでした。今年は学童期以降の百日咳が流行しています。

これは3種混合や4種混合ワクチン接種後年数が経過したため免疫が低下したためと考えられています。

学童期の百日咳は熱の出ることはほとんどなく、長く続く激しい咳が特徴です。この咳は夜間に特に強くなりやすく、咳の勢いで嘔吐したり、咳で眠れなくなることもあります。またもともと気管支喘息のある方は、喘息が悪化しやすくなります。さらに百日咳は気管支喘息の夜間の咳に似ているので、診断が遅れることもよくあります。

また中学生や高校生は長引く咳のみで風邪だと思って放置されることも多いです。でも百日咳菌を排出しているため、免疫のない乳児にうつすリスクがあります。



乳児特に6カ月未満の赤ちゃんの場合

呼吸が止まったり、顔色やつめの色が紫に見えるチアノーゼがみられることもあり、症状が急激に悪化し命にかかわることもあるので注意が必要です。今年は乳児の死亡例や重症例が報告されています。

診断

百日咳の診断は流行状況や咳の経過や症状の特徴から判断しますが、

確定診断にはLAMP法 鼻の奥からぬぐい液を取り、遺伝子検査を行います。これは精度の高い検査です。

結果は2～4日を要するので結果が出るまでは外出は控えてください。

治療

抗菌薬とせきどめを処方します。抗菌薬を5日間内服すると感染力が少なくなるので登校可能となっています。

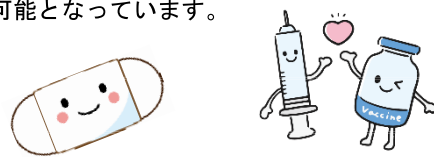
ただし咳のほうはしばらく続きます。

予防対策

百日咳の予防には5種混合ワクチン（DTP-IPV-Hib）の接種が有効です。

生後2か月から定期接種として接種可能な5種混合ワクチンが有効です。生後2か月になったらワクチンを接種してください。

マスク着用（夏なので暑いですが、室内は着用してください）、うがい手洗いなど基本的な感染対策をしましょう。



8月の予定

2025年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■小児科診療：午前 小針先生／午後 青木先生

8月10日から17日まで
クリニックの夏休みです。

定期のお薬がなくなり
そうの方は早めに受診
お願いいたします

暑さを避けるように尾瀬に行きました。

アヤマ平という2000mの湿原を目指しました。

暑かったですが、池塘にはワタスゲがいっぱいでした。

